



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澄田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,309	△18.7	241	△37.3	297	△31.0	180	△28.4
24年3月期第1四半期	6,532	5.6	385	41.3	432	61.9	252	120.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 266百万円 (△11.8%) 24年3月期第1四半期 301百万円 (139.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	10.31	10.17
24年3月期第1四半期	14.41	14.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	27,496	22,410	80.3
24年3月期	27,042	22,261	81.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 22,074百万円 24年3月期 21,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	1.3	1,150	△26.0	1,250	△25.9	700	△6.1	39.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	18,218,901 株	24年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	715,359 株	24年3月期	715,245 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	17,503,602 株	24年3月期1Q	17,491,152 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、震災からの復興需要やエコカー補助金などの効果もあり内需を中心に回復基調をたどりましたが、欧州債務危機に端を発する外需の減速や円高の進行に伴い輸出環境が厳しさを増すなど、予断を許さぬ状況が続きました。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、スマートフォンやタブレット型端末（多機能携帯端末）などのモバイルコンピューティング関連が引き続き牽引し、携帯電話市場、コンピュータ市場は好調に推移したものの、国内半導体メーカーのNANDフラッシュメモリ向け設備投資は一巡しました。また、民生機器市場は、地上デジタル放送への移行に伴った駆け込み需要の反動により薄型テレビの販売は低調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高53億9百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益2億41百万円（同37.3%減）、経常利益2億97百万円（同31.0%減）、四半期純利益1億80百万円（同28.4%減）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、当社グループが蓄積してまいりました高度なエンジニアリング力を効果的に活用して高付加価値製商品及びサービスの提供に努め、仕入先との更なるパートナーシップを強化すると共に既存顧客との関係強化・新規顧客開拓を行い、積極的な営業活動を展開することに加え、新製品の開発に注力してまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、前年同期実績には及ばなかったものの、他社製品からの移行及び長期契約の更新が順調に進んだことなどにより、概ね堅調に推移しました。自社製テストシステムは、国内半導体メーカーの設備需要が一巡したため、売上高は減少いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、売上高は横ばいであったものの、開発効率は向上いたしました。

その結果、当事業の売上高は25億12百万円（同12.5%減）、セグメント利益は2億52百万円（同33.4%減）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に努めてまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA市場の低迷に加え一部モデルの供給終了により、売上高が全体的に落込みました。デバイス部門は、特に自社製組み込み用途向けCPUボードが好調に推移したものの、競争激化によるデジタルテレビの価格下落及び需要減等によりHDMIチップの売上高が減少いたしました。また、レーザーダイオードドライバについては、海外顧客の在庫調整が一段落したものの、前年度並みの回復には至りませんでした。アイティアアクセス株式会社の組み込みソフトウェア及びデジタル家電向けライセンス販売は、国内デジタルテレビの需要一巡により前年同期実績には及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は27億96百万円（同23.6%減）、セグメント利益は54百万円（同31.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、274億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億53百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が減少したものの受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は50億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4百万円増加しております。これは主に、未払法人税等が減少したものの買掛金や賞与引当金が増加したことなどによるものであります。

純資産は224億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は80.3%となり、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,470,444	2,503,072
受取手形及び売掛金	8,533,083	9,276,808
商品及び製品	1,185,209	1,957,896
その他	2,085,000	1,799,994
貸倒引当金	△1,151	△1,052
流動資産合計	15,272,585	15,536,720
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,690,139	7,690,847
減価償却累計額	△3,449,846	△3,486,195
建物及び構築物（純額）	4,240,292	4,204,651
土地	5,668,131	5,668,131
その他	741,453	744,551
減価償却累計額	△493,494	△504,524
その他（純額）	247,959	240,027
有形固定資産合計	10,156,383	10,112,810
無形固定資産		
のれん	84,535	77,490
その他	168,484	159,467
無形固定資産合計	253,020	236,958
投資その他の資産		
投資有価証券	682,454	780,880
その他	686,246	837,222
貸倒引当金	△7,697	△7,697
投資その他の資産合計	1,361,002	1,610,405
固定資産合計	11,770,406	11,960,174
資産合計	27,042,992	27,496,894

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,865,989	2,508,233
未払法人税等	697,022	78,232
賞与引当金	—	25,160
役員賞与引当金	—	3,600
その他	1,699,299	1,948,698
流動負債合計	4,262,311	4,563,924
固定負債		
退職給付引当金	284,022	292,941
役員退職慰労引当金	37,050	36,779
その他	198,208	192,518
固定負債合計	519,280	522,239
負債合計	4,781,592	5,086,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,320,858
利益剰余金	4,395,430	4,453,347
自己株式	△282,956	△283,010
株主資本合計	21,950,491	22,008,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,487	47,799
繰延ヘッジ損益	△7,076	14,164
為替換算調整勘定	△71,955	4,193
その他の包括利益累計額合計	△14,543	66,158
新株予約権	137,543	143,381
少数株主持分	187,908	192,835
純資産合計	22,261,400	22,410,730
負債純資産合計	27,042,992	27,496,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	6,532,423	5,309,497
売上原価	4,995,674	3,880,494
売上総利益	1,536,749	1,429,003
販売費及び一般管理費	1,151,603	1,187,604
営業利益	385,145	241,398
営業外収益		
不動産賃貸料	107,112	109,453
その他	23,633	35,165
営業外収益合計	130,745	144,618
営業外費用		
不動産賃貸費用	82,368	81,792
その他	1,504	6,230
営業外費用合計	83,873	88,023
経常利益	432,018	297,993
特別利益		
退職給付制度終了益	49,359	—
特別利益合計	49,359	—
特別損失		
投資有価証券売却損	3,562	—
その他	790	—
特別損失合計	4,352	—
税金等調整前四半期純利益	477,024	297,993
法人税等	217,076	112,623
少数株主損益調整前四半期純利益	259,948	185,369
少数株主利益	7,814	4,926
四半期純利益	252,133	180,443

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	259,948	185,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,843	△16,687
繰延ヘッジ損益	15,772	21,240
為替換算調整勘定	37,633	76,148
その他の包括利益合計	41,562	80,701
四半期包括利益	301,510	266,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	293,696	261,145
少数株主に係る四半期包括利益	7,814	4,926

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,869,902	3,662,521	6,532,423	—	6,532,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,236	—	4,236	△4,236	—
計	2,874,139	3,662,521	6,536,660	△4,236	6,532,423
セグメント利益	378,829	79,514	458,344	△73,198	385,145

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,198千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△73,037千円及び棚卸資産の調整額△160千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,512,559	2,796,937	5,309,497	—	5,309,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,512,559	2,796,937	5,309,497	—	5,309,497
セグメント利益	252,257	54,526	306,783	△65,385	241,398

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,385千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,438千円及び棚卸資産の調整額53千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。